

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-2  
消防防災対策の推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

河川課長 星野 充孝

電話番号

0852-22-5195

事務事業の名称	水質事故対策	
目的	(1) 対象	河川流域や海岸沿岸域の居住者及び一般県民
	(2) 意図	水質事故に対して迅速で正確な対応を行い、流域住民等の被害を最小限とする。
事業概要	水質汚濁防止連絡協議会を開催（水質事故が多くなる冬期の初め）し、水質事故発生時の連絡・協力体制の強化を図る。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	なし	目標値					%
	式・定義	なし	取組目標値					
	実績値							
2	指標名		目標値					%
	式・定義		取組目標値					
	実績値		達成率	-	-	-	-	-

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	600	620
うち一般財源 (千円)	600	620

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

県全域で38件の水質事故が発生したが、迅速・適切な対応を行うことにより被害を最小限とした。なお、水質汚濁防止連絡協議会の開催後に水質事故が発生した際、初動対応が遅れたため、結果的に影響範囲が拡大したことにより、事故処理が長期化したケースが1件あった。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

県全域で38件の水質事故が発生したが、迅速・適切な対応を行うことにより被害を最小限とした。  
初動対応の改善等を図るため、連絡体制の見直しなどについて意見を集約。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

水質事故の際に、通報者から連絡を受けた水路管理者（市町村管理）の初動対応が連絡を含めて十分とは言えず、結果的に県管理河川まで範囲が拡大した。そのため、被害を最小限とするために設置したオイルフェンス等の資材回収まで大幅な時間を要した。

### ②困っている状況が発生している「原因」

水質事故発生時の初動対応について、一部の水路管理者側には十分に理解されていなかったこと及び管理者間の連絡体制等が十分でなかった。

### ③原因を解消するための「課題」

水質事故発生時の初動対応や連絡体制については、水質汚濁防止連絡協議会の各支部及び関係機関から意見等を集約した上で合意形成を図る必要がある。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

水質汚濁防止連絡協議会の各支部及び関係機関から意見等を集約し、連絡体制等を見直した上で水質汚濁防止連絡協議会を開催。（例年12月）  
水質事故発生時の連絡・協力体制の強化を図り、引き続き、迅速・適切な対応を行うことにより被害を最小限とする。